



Amir Tsarfati

2021年5月5日中東時事アップデート アメリカが中東を去りつつある

シャローム、皆さん。アミール・ツアルファティです。イスラエルのガリラヤにあるオフィスより、ライブで配信しています。2021年5月5日水曜日、今日の中東時事アップデートの話題は、「アメリカが中東を去りつつある」です。これは大きな話題です。そもそもアメリカは、いつ中東に到着したのかについても理解して行きます。それから、アメリカがそこにいる理由、何年そこにいるのか、そして今何が起きているのか。しかし、それとは関係なく、ここ数日で多くのことが起こりました。それについてもお知らせします。特にイスラエルの攻撃について、特別な攻撃、非常に異例の攻撃が、シリアの沿岸地域で昨夜行われました。では、お祈りをしてから、この72時間の出来事、その後、今日の話題に行きましょう。

お父様、あなたに感謝します。あなたは、すべてを完全に支配され、あなたの御言葉を、私たちに与えてくださいました。あなたの御言葉は真実であって、単に、何を行い、何がいけないのかを集めただけのものではありません。あなたの御言葉は、また啓示でもあります。あなたの御心、あなたのご計画、そして、全知のあなたがあらかじめ告げておられる、人類の行いを。ですから、この世で、あなたを驚かせるものは、何もありません。お父様、信仰の者であっても、時に、私たちが理解していないことがあります。主よ、聖霊とあなたの御言葉を通して、私たちを慰め、物事を的確にし、今日、私たちを励ましてください。あなたに感謝し、あなたを祝福します。イスラエルの聖なるお方、イエシュア・ハマシアハ、イエスの御名によってお祈りします。アーメン。

さて、シャローム皆さん。アミール・ツアルファティです。イスラエルのガリラヤからの、このライブが楽しみです。現在、多くのことが起こっています。

〈イスラエルによる、シリアでの攻撃〉



シリアでの攻撃(上)と
ラタキアの位置

まずは、シリアでの、イスラエルによる異例の攻撃について触れたいと思います。それは、昨夜の午前2時15分に行われ、感謝なことに、私は眠っていましたが、これは非常に珍しいことです。では、ご説明しましょう。まず、これは、この領域の様子の写真です。

これは、非常に珍しい攻撃で、飛行機より数十発のロケットが、総合施設に向けて、発射されました。その中には、…中身の話をする前に、その場所を理解するために、地図をご覧ください。

この赤い矢印をご覧ください。シリアの海岸北部ラタキアを指しています。視力の良い方は、そこにロシアの旗が見えるでしょう。そこには、イランのヒズボラが駐留していますが、シリア国内で一ヶ所、ロシアが大規模に駐留する場所があるとすれば、ここです。ここには、彼らの最大の基地、フメイムム空軍基地があって、ここにはタ

ルトゥースがあり、彼らの海軍基地もここにありますが。間違いなく、イスラエルがそこで攻撃するためには、ロシアからの承認が必要です。間違いありません。皆さんは恐らく思っているでしょう。

「なぜロシアは、イスラエルがロシア軍にあれほど近い場所を攻撃することを許可するのか？」

「それも、他でもなくイランの標的を？」

さて、私たちの中では「ああ、エゼキエル 38 章、イラン、トルコ、ロシアだな…」と考え、彼らが互いを愛していると考えますが、それは違います。イランは、シリアを安定化させたいロシアの道を阻んでいます。イランは地域全体を不安定にしていますから。そして、ロシアは、イランが好きではありません。最終的に、彼らがイスラエルを攻撃する唯一の理由は、その瞬間に、彼らの利害が一致するからです。しかし、明確にする必要があります。イスラエルが破壊したものは、この地域を不安定にする、大きな可能性があったのです。我々が知っているシリアの情報源によれば、破壊されたものは実際、地対地ミサイルで、プラスチック工場であるはずの場所に、イラン革命防衛隊が置いていたものです。しかしまた、「ヤホントミサイル」もそこに保管されていました。ヤホントミサイルとは、致命的なロシア製ミサイルで、P-800 ヤホント、対艦巡航ミサイルです。1980 年代まで遡りますが、彼らの最高傑作の一つで、2002 年以来運用されています。これは新しいバージョンですから。私たちは、ヒズボラがそれを持っていたことを知っています。それらを購入した国は非常に少数で、実際、私たちが、所有していることを知っている国々は、当然ロシア、インドネシア、シリア、ベトナムです。そしてもちろん、ヒズボラがそれらを所持していたことを知っています。そして、この種のミサイルが沿岸都市にある理由は、明らかに、イスラエル海軍の船が標的になるからです。ということで、イスラエルは昨夜、然るべき対処をしました。それはロシアの承認を得て、非常に珍しい場所で行われました。

〈混迷を深めるイスラエル議会〉

さて次に、選挙で大混乱しているイスラエル議会についてお話ししましょう。さて、重い心でお伝えします。

ベンジャミン・ネタニヤフは、政府を形成できませんでした。これが一時代の終わりなのか、一時的な挫折なのかは分かりませんが、しかし、我々に分かっているのは、数分前にイスラエルの大統領が、ベンジャミン・ネタニヤフの政敵、ヤイル・ラピードに組閣命令を出しました。私は、これを言うのも恥ずかしいです。というのも、私たちはヤイル・ラピードを「ヘアジェル男」と呼んでいて、この男は高校も卒業しておらず、雑誌のライター、テレビで知られているだけで、経験もゼロ、組織を運営する能力もゼロ、全くありません。ただ、ネタニヤフに対する憎しみから、基本的に誰でも受け入れているのです。次に、今後イスラエルで私たちが目撃することになるのは、ヤイル・ラピードは、自分が首相になれないことを理解しています。そこで、彼が何をしたかと言うと、彼は、たった 7 議席しか得ていない右派政



一つの時代の終わりなのか、それとも一時的な挫折なのか？

「ほら、連立内閣をやりましょう。最初の一年か二年は、あなたに首相をさせてあげましょう。そして、その次に私がなります。任期交代です。」

基本的に、彼らは利用して…想像できますか？例えばアメリカで、第 45 代大統領を憎む人が言うのです。

「なあ、最初の一年は大統領に共和党の人を使い、それから残りの三年間は、我々の仲間を置こう。そうすれば、反対側からもいくらかの支持が得られる。」

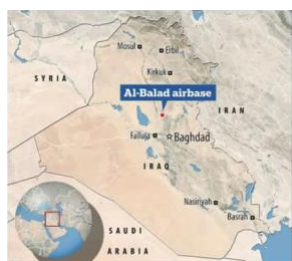
これを、私たちは「使えるバカ」と呼びます。彼らはベネットを連れて来て、利用しています。こんなことは見たことがありません。彼らが形成しようとしている政府は、長続きしません。何に対しても、全く同意しない政

党で形成されるのですから。唯一、彼らが同意するのは、…彼らがベンジャミン・ネタニヤフを嫌っている、それだけです。繰り返しますが、これで一つの時代が終わるのか？ネタニヤフは終わったのか？彼は辞任して、野党指導者になるのか？そうなれば、もちろん反対側に、長期的な政府の形成を提供します。時が来れば分かるでしょう。ヤイル・ラピードは組閣するために28日間を与えられました。彼は、来週にも出来上がると主張していますが、まあ、お手並み拝見と行きましょう。

私は自分の国を愛していますから、彼の成功を願いますが、彼が失敗することも分かっています。私は彼がどういう人間かも知っていますし、彼と一緒に働く相手も、正確に知っていますから。

〈イラクのアル・バラド空軍基地で、イラク人民兵の攻撃〉

では次に、三日前の話に行きましょう。イラクのアル・バラド空軍基地で、イランが支援するイラク人民兵の攻撃が、もう一つありました。今、アメリカのヘリコプターが、そこから負傷者を避難させるのが目撃されています。誰が負傷したのかは、正確には分かりません。それについては後ほど、アメリカが中東を離れている話の中で、もう少しお話しします。



アル・バラド空軍基地の位置

ただ、皆さんに知っておいていただきたいのは、初めは年に一度だったのが、半年に一度になり、月に一度になって、もはや週に一度でもなく、今はほぼ一日おきにあつて、これは、イランからアメリカに対する、明確なメッセージです。

「ここから出て行け！」「ここは我々の庭だ！」「イラクは、イランの庭だ！」
基本的に彼らは、そう言いたいのです。

〈イランの地対地ミサイル用格納庫建設を、イスラエルが衛星画像で発見〉

さて、もう一つお伝えしますと、イスラエルは、イランで起こっていることを注意深く見えています。ほんの数分前に受け取ったばかりですが、我々が受け取った衛星画像から、イランが湾岸全域に届く地対地ミサイル用の地下格納庫を建設していることが明らかになりました。基本的に、彼らが言おうとしているのは、

「アメリカが、すべての湾岸諸国から出て行った瞬間…アラブ首長国連邦、カタール、バーレーン、クウェート、お前ら全員が、我々が地下格納庫と発射台を構築しているミサイルの射程距離内に入っている。」

これは気になる状況であつて、残念ながら国際社会からも、アメリカからも、責任が問われることもなく、正しく対処されていません。これはかなり不幸なことです。

〈「孫子の兵法」とイランの軍事思想〉

非常に興味深いことに、イランは世界に向かって「ほら、私たちは良い人です。」と言っています。しかし、彼らは戦術を利用して、私はそれを「操りと欺瞞」と呼びます。非常に明確にしておきますが、これは何も新しいことではありません。彼らは、2500年前に生きていた、非常に有名な中国の軍人から学んだのです。多くの軍事アカデミーが、彼の教えを教えています。つまり、孫子です。孫子は、中国の将軍、軍事戦略家、作家、哲学者で、古代中国の東周時代（春秋時代）に生きていました。さて、孫子は伝統的に「孫子の兵法」の著者として評価されています。これは非常に影響力のある軍事戦略で、西洋と東アジアの哲学と軍事思想の両方に影響を与えています。さて皆さんに、彼の名言を三つご覧いただきます。そうすれば、イランが今、何に関与しているのかが理解できるでしょう。また、もう一つお伝えしますと、ベトナム戦争中にアメリカと戦った軍隊は、基本的に、これらの原則に従っていました。しかしその一方で、何年も前に遡ると、ノルマンディーのD-ディにナチスを操り、欺いて、それが他の場所で起こっていると、ナチスに思わせ欺いたのは、連合軍です。ですから、これらの孫子の引用を三つご覧ください。理解できるでしょう。

① 戦わずして人の兵を屈する者は、善の善たる者なり

イランがアメリカを直接攻撃しているのを見たことがありますか？ありません。見たことはありません。彼らの手はきれいです。この後、彼らがしていることをご覧いただきますが、一つ確かなのは、敵を疲弊させることです。

② 上兵は謀を伐つ。其の次は交を伐つ。

ほら、もう一つ、皆が理解していないのは、空母や、時には攻撃団や F-35、これらはすべて素晴らしいものです。しかし、敵が戦略で出し抜き、敵があなたの弱点を知っていれば、すでに、それで終わりです。

もう一つの名言、これは欺瞞について言及しています。

③ 兵とは詭道なり。ゆえに、能なるもこれに不能を示し、用なるもこれに不用を示し、近くともこれに遠きを示し、遠くともこれに近きを示し、利にしてこれを誘い…

このように、欺瞞です。そして、イランには、欺瞞は常にあります。

「おい、攻撃するぞ！」「おい、核攻撃だ！」「我々はアレをし、コレをする！」

そして、私たち全員が知っている通り、第45代大統領が、彼らの将軍のトップに爆弾を投下したとき、彼らは何もせず、そのハッターが露呈されました。しかし、それがやり方です。常に脅威を撒き散らし、常に敵を疲弊させる。

ここから次にお伝えするのは、彼らがウィーンでの会合に出席して語っている間、ドイツ、オランダ、スウェーデンの情報機関が、イランの核技術習得への試みを追跡しました。2020年、2021年の話です。オランダ、スウェーデン、ドイツの情報機関による最近の調査の結果から、イランが2020年に技術習得のために、複数試みたことが明らかになりました。何のために？民間エネルギー用でしょうか？いいえ、大量破壊兵器計画のためです。これらの国々は、イランが無害ではないことを理解し、知っています。彼らは、自分たちの核開発と核活動のすべてが、市民生活が目的であるかのように見せかけていますが、それ以上に…。彼らの報告の残りの部分をお読みします。情報報告書はまた、述べています。オランダは、イランのネットワークを混乱させることで、核技術に関する情報を得ることに成功し、欧州の報道によると、イランは昨年、原子力技術習得の働きを止めていない。皆さん、皆が会合で話し合っている間、イランはそれを^{おこな}行っていて、彼らは本当に止めていません。ネタニヤフ首相が、「彼らはあなたがたを騙している」と世界に告げ、皆が彼を笑っていた時、諜報社会は、その意味のすべてを理解していました。

〈米国の、中東での歴史。中東を撤退しようとしている米国と、中東各国の動き〉

さて、少し遡って、中東での米国の歴史の始まりについてお話ししましょう。きっと皆さんはご存じないと思いますから。少なくとも、イスラエルの最初の10年間は、米国はここに駐留していませんでした。イスラエルが実際に親しくしていたのは、ロシア、チェコ、フランスで、フランスは武器や戦闘機の多くを提供していたのです。私たちは、フランスの戦闘機に乗っていました。私たちが、最初の F-16 を手に入れたのは1980年代です。皆さん、理解してください。イスラエルは、他の国々と長期的な関係を持っていて、アメリカは、第二次世界大戦で、世界中の他の様々な場所で戦争した後、中東から離れたかったのです。中東は、アメリカが最も関わりたくない場所でした。さらに、フランス軍とイギリス軍が激しく関与していて、この場所に入っていたのは、アメリカよりもむしろヨーロッパの方でした。ですから、1948年から1958年まで、少なくともイスラエルに関しては、アメリカはまさにその地域や近隣にはおらず、すべてを変えたのは、アイゼンハワーがアメリカの大統領だったと

きです。1958年に、エジプトの大統領ガマル・アブドゥル＝ナーセルが、スエズ運河を国有化して占領、当時の世界商業を阻んだ時、アメリカ大統領は、国際共産主義からの侵略に直面している国々からの、アメリカの軍事援助の要請を尊重する、と誓いました。ナーセルは同時、ソ連に傾いていたのです。そして、米国のかわりは基本的に、非常に西洋に友好的だった最後の国王、ハシェミテ族のファイサル2世を処刑した、反乱者イラク軍の将校にとって、試練となりました。それが1958年の夏に、バグダッドで起こりました。そして、何が起こったと思いますか？イラク国王暗殺後、クリスチャンだった当時のレバノンの首相カミーユ・シャムーン、基本的には、ナーセルの敵であった彼が、アメリカに誓って言ったのです。

「私たちが助けに来てください。イラク革命が、ソ連を我々の入り口にもたらすことを、私たちは恐れています。」

さて、ナーセルとイラク革命は、互いにほとんど関係がなかったが、当時は誰もそれを理解していませんでした。簡単に言うと、アメリカの海兵隊員が、空母と駆逐艦で上陸します。1958年に、彼らがベイルートに上陸すると、ただ日光浴をしている人々がいただけで、実際には何も起こっておらず、誰もが彼らを見て驚きました。その時、当時の中東に、アメリカが初めて足を踏み入れたのです。そして、海兵隊員はベイルートに滞在し、後に、海洋兵舎が攻撃されました。ヒズボラの最初の自爆任務は、ベイルートの海洋兵舎の破壊でした。そうしてヒズボラは、80年代初頭に世に出たのです。

さて、皆さん、理解してください。アメリカは、アイゼンハワーの教義に従って動いていました。そのアイゼンハワーの教義とは、基本的にこれです。

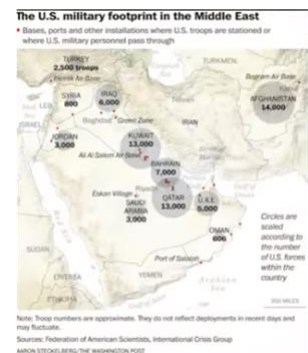
「中東には、我々が実際に得られる石油がある。そこから得られるのに、なぜ自分たちの石油を無駄にするのか？また、我々は中東に武器を販売することができます。ソ連が来て、それをするといけないから、我々はそこに駐留する。」

当時、国務長官だったダレスは気づきます。

「これは何らかの冒険だ…入り方は知っていても、抜け出し方が分からない。」

簡単に言うと、…この地図をご覧ください。現在の中東における米国の駐留です。何千人もの兵士が、アフガニスタン、イラク、アラブ首長国連邦、カタール、オマーン、サウジアラビア、クウェート、またシリア、ヨルダン、トルコに見られます。それぞれが異なっていて、空軍基地があり、諜報があり、海兵隊員があり、そこにすべてを持っています。率直に言って、この大統領がいなければ…しかしそれは2014年に始まっていて、アメリカは、もはや、アラブの石油に頼る必要はないことに気づきました。今やアメリカは、…少なくとも、前大統領の4年間は、アメリカは世界でナンバーワンの石油輸出国となり、そのため、アラブの石油に頼るといのは、もはや中東に留まるのに、十分な言い訳ではありません。それに加えて、ご存じの通り、中東は非常にクレイジーな地域です。

宗教的な戦い…ところで、イスラエルとパレスチナ問題は、中東の紛争のリストのトップではありません。それ以上に、スンニ派對シーア派、アラブ人対ペルシャ人、トルコ人です。つまり、国民性、宗教的な所属、部族の所属など、中東では、非常に多くのことが起こっています。そして気づけば、アメリカは今、世界のその部分で警官になっています。私たちの多くは、生まれたときにはすでにアメリカが中東にいることが現実でした。唯一、1958年に大人だった人々だけが、それ以前、アメリカは中東にいなかったことを覚えていますが、しかし、私たちのほとんどは…よく考えてみれば、私たちはそれに慣れてしまいました。私たちにとって、アメリカが中東を離れることは前代未聞で、それは酷いように見えます。しかし皆さん、思い出してください。そのすべてを通して、アメリカは常に、どこにあっても空中、海上、地上、すべてに



中東の米軍



ケネス・マッケンジー Jr 将軍

において優位性を持っていました。さて、どこにであれ、無防備でいることに何の意味がありますか？つまり、どこかにいるなら、確実に優勢でいる必要があります。そして、そのすべては、先月、アメリカ中央軍マッケンジー将軍が上院委員会の前に現れ、証言をしたことで変わります。ちなみに、このビデオへのリンクを貼り付けて

おきます。一分半の YouTube の動画で、それほど長くはありません。皆さん、これを聞くのは初めてでしょう。

(<https://youtu.be/p2QrrWq5gMw>)

「朝鮮戦争以来初めて、アメリカが制空権も、海上での優位性も持っていない。」

アメリカは現在、中東のペルシャ湾にいて、そして、アメリカには、制空権がないように感じている。私たちは何の話をしているのか？F-16 や F-22、B-52 を持っている、あのアメリカではありませんか？

どうなったのか？さて、何が起こったのか、お見せしましょう。この、ドローンの映像をご覧ください。



IRGCのドローンで撮影した、米航空母艦上の航空機

これは、米国の空母をスパイしている、イラン革命防衛隊の無人機、UAV です。これらは、米国航空母艦に乗っている、アメリカの航空機です。そして、これらの写真は、イランの飛行機が上空を旋回し、撮ったものです。さて、イランはオバマ時代に、非常に精巧な米国の無人機を撃墜し、リバースエンジニアリングで、彼らのものを構築しました。それらはステルスで、優れて速く、また致命的で、また、皆さん、言うておきますが、それらは素晴らしい写真を撮ります。それらの無人機が、写真を撮るだけでなく、イランがそれを公開して、アメリカに知らせているのです。「我々は、お前たちを監視している」と。

さて、これを見てください。アメリカが、弱く裸だと感じるのは、ここだけではありません。イスラム革命防衛隊が受け取った船の数をご覧ください。340隻の新しい船、いくつかは、ドローンがあって、それらは高速で、米国の空母や駆逐艦よりも、ずっと速く移動します。わかりますか？そして、これらの船がほぼ日常的に、米国の船に嫌がらせをしているのです。ですから、アメリカの海兵隊員や米軍が銃撃していると聞く時は、彼らはイラン革命防衛隊に向けて警告を放っている時で、それはほぼ毎日起こります。ハラスメント、上空からの嫌がらせ、下からの嫌がらせ、映像、欺瞞、操り。基本的には、おびえさせるためです。そしてマッケンジー将軍は、そこに座り、文字通り一分半の動画で、「朝鮮戦争以来初めてだ」と言いました。「我々は、自分たちに制空権がない場所にいる。」これは良くありません。皆さん、理解してください。



IRGC、340隻の新船とドローン
数台を受け取る

では、アメリカが中東を去り始めている理由は何か？さて、もちろん、それは私たちの近くの領域だけではありません。なぜなのか？まず第一に、理解しなければなりません。アメリカはもう、石油を必要としていません。2014年以來、我々は既にそれを知っています。アメリカは継続する戦争、ノンストップの戦争で疲れ果てています。さて、誰もが知っている通り、第44代大統領が、すべての軍事予算を削減し、第45代大統領がそれらをすべて元に戻しましたが、第46代大統領が再びそれらを削減しました。だから、これは良くありません。もう一つは、現在の対話や、民主党の口ぶりで、いわゆる“脱植民地化”です。

「第三世界の国々で、“占領軍”となるのは、もう止めよう。」

彼らが、こう言っているのです。ところで、クレメント・アトリーは基本的にこのようにして、1948年に大英帝国をバラバラにしたのです。1945年から1951年の間に、バラバラになって、アトリーのその思考のために、基

本的に英国は、大帝国ではなく、孤島になりました。アメリカはまた、内部に多くの問題を抱えており、非常に恐ろしいことが国内で起こっている動画を目にします。あちらではまた、COVID の課題もあって、そのすべてのことが原因で、基本的にアメリカは「もうたくさんだ!」と言います。

「我々は、本当に中東にいる必要はない。」「すべて撤退しよう。これまでだ!これで終わりだ。」

そして、面白いことに、アメリカが最終的に去ると、イラクであれ、サウジアラビアであれ、シリアであれ、どこでも、誰がそこを仕切る「大人」になるとお思いますか?サウジアラビアや、イスラエルでなければ、イランです。イランは、アメリカと世界に「私たちは安定勢力だ」という、驚きの図を売っています。

「我々があなたを助けます。」「我々が、これらの国すべてを世話します。」

「イラク、シリア、イエメン、レバノン…任せなさい!我々がそれを行おう。」

実際、イランがいる場所は、どこも不安定です。一つずつ見ていきますが、レバノンが崩壊していることが分かります。レバノンで起こった爆発をご覧ください。分かりますか?爆発によって、基本的にベイルートの三分の一が崩壊しました。もちろん、すべては、イランの代理人であるヒズボラのせいです。そしてヒズボラが、レバノンの繁栄を止めています。



2020年8月に起きたベイルートの爆発



おびただしい数の魚の死骸

一週間前に、レバノンの湖の一つで起こったことを見てください。恐ろしいことに、大量の魚が、汚染のために海岸に打ち上げられ、すべて死んでいます。そのうちの何匹かは拾い上げられ、市場で販売されました。これは、ヒズボラの土地です。彼らが、レバノンをこのようにしたのです。本当に心が痛みます。ですから、イランのいる所はどこも、イランが地域を不安定にしています。非常に悲しいことです。しかし、アメリカがいるのは、世界のその部分だけではありません。

アフガニスタンを見てみましょう。思い出してください。アメリカは、80年代後半からそこにいます。ロシアがそこで失敗した後、アメリカがやって来て、そしてアメリカは、他のどの場所よりも、多くの軍隊をアフガニスタンに置いていました。そして、第45代大統領がタリバンとの合意に達し、2020年2月、合意が成立、すべての米軍が14ヶ月以内にこの国を去ることを約束しました。しかし、これをご覧ください。「その見返りに

…」よく聞いてください。その代わりにタリバンは、アルカイダなど、国内で活動しているテロ集団を禁止し、ライバルのアフガニスタンの派閥との和平交渉を開始し、数十年続いた、国内における敵対を終わらせることに同意した。基本的に、それが内容です。では、タリバンが合意約束を守ったとお思いますか?いいえ。第46代大統領が、軍隊がアフガニスタンを去るのを止めるとお思いますか?いいえ。この写真をご覧ください。これらは数日前に、アフガニスタンを去るアメリカ軍です。彼らが、アフガニスタンの軍事基地で、米国旗を降納している写真です。ともかく、アメリカはすでにアフガニスタンを去っています。すでに撤退し始めました。ではなぜ、それに心が痛むのでしょうか?なぜなら、彼らは、彼らの契約を守りました。アルカイダは、これまで以上に激しく活動しています。誰かが弱さを匂わせている、誰かが、何としてでもアメリカを去らせたいと思っている。それなら、なぜ彼らがアルカイダを追い出しますか?ここはアルカイダの活動場所です。そして、イランは大喜びです。イランは、アルカイダを困っていますから。



アフガニスタンの基地で、米国旗を降納する兵士

こちらはスンニは、これらはシーア派ですが。信じられないかも知れませんが、モサドはテヘランで、アルカイ

ダのナンバーツーを殺しました。そこで、イランが彼をかくまっていたから。だから、アフガニスタンは、これをアメリカの裏切りのように感じているのです。

「ちょっと！あなたがたは、彼らがA、B、C、Dをした場合にのみ、撤退すると言ったじゃないですか！でも彼らは、A、B、C、Dをやっていないのに、あなたがたは出て行こうとしている。」

その後…シリアを見てみましょう。米軍はシリアのどこにいますか？ユーフラテス川を渡ったところ。ユーフラテス川の東側…のどこですか？クルド地域の、主にガスと油田の地域で、最大のものはコニコです。ご覧の通り、オマール、タナクがありますが、真向かいのデリゾールは現在、イラン革命防衛隊の首都です。ただ、皆さんに理解していただきたいのは、2018年2月、ロシアの傭兵がシリア軍やイラン軍とともに渡ろうとしていた所、第45代大統領が「そうはさせない」と言い、米国はその反乱の波を砲撃して、反乱軍を数百人殺害しました。数百です。さて、ロシアの傭兵のこの軍隊は「ワグナー」と呼ばれ、これが彼らのコードネームです。なぜ、プーチンは彼らを採用するのか？そうすれば、ロシアの犠牲者として数えられないからです。これらの人々は、ソーシャルメディアを持たず、彼らは特殊部隊の出身で、高額の賃金を受け取っています。その彼らが、基本的に殺されましたが、誰も彼らをロシア軍として数えていません。ロシアは、アメリカの場所を攻撃しようとしていませんが、ワグナーの軍隊が、それをしました。見てください。第45代大統領がそこにいたとき、アメリカは徹底的にそれを止めました。さて、先月、IRGC（イスラム革命防衛隊）が爆撃していました。3月22日のことで



イラク

プーチンは彼らを採用するのか？そうすれば、ロシアの犠牲者として数えられないからです。これらの人々は、ソーシャルメディアを持たず、彼らは特殊部隊の出身で、高額の賃金を受け取っています。その彼らが、基本的に殺されましたが、誰も彼らをロシア軍として数えていません。ロシアは、アメリカの場所を攻撃しようとしていませんが、ワグナーの軍隊が、それをしました。見てください。第45代大統領がそこにいたとき、アメリカは徹底的にそれを止めました。さて、先月、IRGC（イスラム革命防衛隊）が爆撃していました。3月22日のことで

す。一ヶ月半前の話です。彼らは、二年間静かでしたが、今、また試みています。私の唇を呼んでください。アメリカは、世界のその部分も離れるつもりです。彼らは、そこにも留まるつもりはありません。

シリアで足りないなら、イラクを見てみましょう。イラクには、5700人の米軍がいます。ご存じの通り、先ほど、イラク全土にある彼らの基地について話しましたが、まだ、米軍基地に対するすべての攻撃が、イランが支援する団体の犯行であることを、米国当局者100%確信しています。前回の、二日前の攻撃の発射台の写真をご覧ください。発射台に、カッセム・ソレイマニの写真が貼られていて、彼ら、イランは基本的にこう言っているのです。

「お前たちは、ここから出て行け！」

「お前たちがここで殺した者の名前で、お前たちをここから追い出す！」

皆さん、私たちがこうして話している間に、アメリカはイラクから追い出されています。これは、名誉ある撤退ではありません。これは、多くの攻撃を受けてのことで、反対側に多くの傲慢さがあります。

さて、それで足りなければ、イエメンです。第45代大統領は、イランの代理であるイエメンのフーシ派をテロ組織として指定しましたが、第46代大統領が就任し、それを覆して、イエメンのフーシ派の、テロリストとしての指定を削除しました。彼らは、その指定が非常に多くの民間人の苦しみを引き起こした、と言います。皆さん、今、それらの民間人が苦しんでいないと思いますか？しかし今、フーシ派は、より多くの



コニコの位置

Biden Reverses Trump Terrorist Designation for Houthis in Yemen

Critics of the Trump administration action said the penalties would punish the millions of starving people in Yemen more than the Houthi rebels.

バイデン、イエメンのフーシ派に対する
トランプのテロリスト指定を留保

権限を与えられていて、制裁はなく、彼らは、さらに激しくサウジアラビアと近隣諸国をすべて攻撃しています。間違えてはいけません。世界のこの部分では、あなたが弱さの兆候を見せると、だれも「名誉だ」とか、「彼は出来た人だ」と言って、あなたを尊敬したりしません。いいえ！いつでも、誰かが攻撃をして、それに対して何もしなければ、それは弱さの兆候です。まさにそのために、ソレイマニがバグダッドのアメリカ大使館に対して、陰謀を企てたとき、彼は取り去られ、抹消されたのです。だから当時、イランが抑止されたのです。

それで足りないなら、レバノンでさえ、アメリカが撤退すれば、ヒズボラが仕切るであろうことは既にお話ししました。レバノンが上手く行かないことは、私たち全員が知っています。

では、皆が気になっていることについて、少しお話ししましょう。サウジアラビアです。イランは、イスラエルを憎んでいる以上にサウジアラビアを憎んでいます。イランは、シーア派イスラム教の母で、サウジアラビアは、スンニ派イスラム教の母です。イランは、サウジアラビアを全滅させ、メッカとメディナを占領したいのです。間違えてはいけません。彼らがそう言ったのです。実際、2017年、皇太子は、イランの宗教指導者について、次のように語っています。皇太子は、彼を「新しいヒトラー」と呼びました。さて、これは、第45代大統領がホワイトハウスにいたときです。そこへ、第46代大統領が登場すると、今や彼はイランを受け入れていて、同じ皇太子の口から、私たちは異なる音色、異なる音楽を聞いています。

「サウジアラビアの皇太子は、イランとの良好な関係を求めている。」

おそらく、このために…だから、我々が、サウジとまだ契約を結んでいないことに、私は感謝しています。なぜなら、もし私たちが彼らに、何らかの重要な情報やそのようなものを与えれば、彼らが我々を裏切って、イランにそれを売らないと、どうして分かりますか？

さて、アメリカはイスラエルにいないと言わざるを得ません。そしてアメリカは、中東のアフガニスタン、イラク、シリア等から離れています。この時点で、中東がアメリカの優先事項から外れたら、彼らが、イスラエルに関わることもなくなるという意味で、イスラエルは自立しなければなりません。イスラエルは唯一…この地域でイランに敵対する、唯一の安定した軍隊です。いったん、アメリカが去ったら、他に誰が対応するのか？

もちろん、そのことでイランを恐れる国や、イランの支配下にいたくない国々は、我々との関係を強化するようになるでしょう。そのため、我々は、さらに高い代償を受け取るようになります。例えば、…

「我々の援助が欲しいなら、エルサレムに大使館を開いてください。」本当のお金の問題ではなく、そのようなものの話です。エルサレムには、大使館地区ができるでしょう。我々は、それが起こり得ると信じています。

皆さん、継続される、エルサレムを交渉の場に戻そうとするパレスチナ人の試みで、現在、エルサレムをめぐる戦い始めました。今週の金曜日、ラマダン最後の金曜日は、イランでは「エルサレムの日」で、彼らはあらゆることを試みて、エルサレムに敵対するよう、すべてのこの領域を扇動するでしょう。ただ、一つ言っておきますが、それについてアメリカからは何も聞こえてきません。そういうことです。世界のこの部分は、それほど



言動の変遷：2017年11月



言動の変遷：2020年4月

重要でないのです。それほど重要でない…それなら、我々はそれに対処しなければなりません。誰も、私たちに何をどうしろと言いませんから。それは私たちにとって、良いことかもしれません。

〈まとめ〉

さて、ネタニヤフ首相が辞任に向かっているのを見て、そして、第45代大統領が辞任し、他の非常に優秀な世界の指導者たちが攻撃されているのを目撃し、そして、国家主義が嘲笑され、自由主義とグローバリズムが賞賛されるのを見ると、まるで悪の全勢力が優位に立っているように思えます。それを見ると常に、私は非常に重要なことを思い出します。私たちはみな、それを覚えておく必要があります。世界をよりよくしたいと思うのは、本当に素晴らしいのですが、しかし、私たちは思い出さなければなりません。この世界は、どんどん、どんどん悪化します。そして、私たちに関する限り、それは悲しいことかもしれませんが、同時に、私たちはそのことに驚きません。このため、私は初めの祈りで言ったのです。

「神は、そのみことばの中で、これらのすべてを明らかにされた」と。

感謝なことに、私の国籍はここにはありません。この聖書箇所を締めくくりたいと思います。これは、ピリピ 3章です。すべてお読みしましょう。

17 兄弟たち。私を見ならう者になってください。また、あなたがたと同じように私たちを手本として歩んでいる人たちに、目を留めてください。

18 というのは、私はしばしばあなたがたに言って来たし、今も涙をもって言うのですが、多くの人々が…

見てください。パウロは涙をもって言っています。未信者たちがいて、彼らはどのように歩んでいますか？

多くの人々がキリストの十字架の敵として歩んでいるからです。

19 彼らの最後は滅びです。彼らの神は彼らの欲望であり、彼らの栄光は彼ら自身の恥なのです。彼らの思いは地上のことだけです。

だから、私たちは覚えておかなければなりません。私たちの周りに見えるすべてのものは、本当に私たちの永遠の希望ではありません。パウロは言います。

20 けれども、私たちの国籍は天にあります。

それが天にあるだけでなく、

そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。

21 キリストは、…変えてくださるのです。

(ピリピ 3:17~21)

彼は基本的に、「テサロニケ人への手紙」で言っていることの基礎を築いています。主がそこから来られるとき、主は私たちの卑しいからだを、変えてくださるのです。この幕屋は、建物になります。

第一コリント 15章 53節。

53 …死ぬものは、必ず不死を着なければならぬからです。

(第一コリント 15:53b)

この体は、ずっとこのままではありません。この朽ちる体は、朽ちないからだとなり、そして彼の言うことを見てください。

21 キリストは、万物をご自身に従わせることのできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じ姿に変えてくださるのです。

(ピリピ 3:21)

主が来られるとき、私たちは変えられ、私たちは空中で主にお会いして、主と一緒にいるのです。

これが、私たちの希望です。私たちの国籍は、ここにはありません。私たちは、それを覚えておく必要があります。それが明確でなければなりません。私たちは、素晴らしいものを見ることはありません。ほら、私も、望み祈っていますよ？例えば、ネタニヤフが継続すること、それが後2年半、または3年半続くようお願い、祈ります。第45代(大統領)が、第47代になるようにと。しかし、私はまた、それが起こらなくても、私は、まるでこの世に、これ以上希望がないかのように座って悲しみ、泣いたりしません。私の希望は、この世のものではありません。また、「教会はイエスの来臨に向けて、この世を備えなければならない」と信じている人たちと違って、私は言います。

「我々は、この世を備えることはできません。私たちは、この世から取り除かれるのです。」

神はまず、この世界をさばかなければなりませんから。そしてイエスは、大患難のさばきの後、私たちと一緒に戻って来て、支配されるのです。ですから、私たちは重々注意しなければなりません。文脈から物事を取り除いて、それらを一緒に混同して、まるでこの世界が本当に永遠に私たちの場所であるかのように、ユートピアを構築、イエスが来られて統治するために、私たちがこの世を変えなければならない、なんて。主には、私たちの助けは、必要ありません。この世界が変わる唯一の方法は、邪悪な人々が対処され、そして、サタンが底知れぬ穴に千年間投げ込まれ、そして、反キリストが永遠に火の池に投げ込まれた時だけです(黙示録 19:20~20:3 参照)。それで千年王国が可能になるのです。この世界の、現状のままではありません。全く異なるものです。エルサレムでさえ、異なって見えます。キリストが再臨で、エルサレムのオリーブ山に降り立られると、オリーブ山が裂け、その真ただ中に川が形成されます(エゼキエル書 47章参照)。すべてが異なって見え、すべてが異なります。しかし、それまでは、まず携挙が起こらなければなりません。次に、反キリストが台頭し、そして大患難、そしてもちろん、イエスが私たちとともに戻って来られ、それから千年王国、その後、さばきの白い御座です。それから、天のエルサレムが降りて来て、私たちは永遠に、主とともに生きるのです。

ですから、コロサイ3章にあるように、天にあるものを思いましょう。

2 あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。

(コロサイ 3:2)

この世は過ぎ去ります。より重要なのは、永遠です。あの金持ちに尋ねてみてください(ルカ 16:19~31 参照)。彼は、アブラハムのふところにいるラザロを見て、気づきます。

「そうか、仕方ない。私は何も変えることができない。私たちの間には大きな淵があって、私は動けない。戻ることも、復活することも、私は家族に警告することもできない。私には何もできない。」

私たちは、この話を知っています。これは実話です。イエスが、この話を語っておられるのです。私たちがそこから学び、理解するためです。私たちが今行うことすべて、私たちが今言うことすべて、私たちの今の生き方が、私たちの永遠を決定します。非常に重要です。

ですから、どうか皆さん、政治や軍隊に信仰を置かないように、政治組織や啓発セミナーの講師たちに信仰を置かないようにしてください。そういったものには一切信仰と信頼を置かず、二千年前に流された血潮を思い出してください。この世の何よりも、ずっと強い力を持っています。

では、お祈りをしましょう。それから、皆さんにお知らせがあります。テレグラムで私をフォローして、毎日ニュースを受け取れるようにしてください。私はもう、ツイッターをしていませんから。テレグラムにご登録ください。良いですね？では終わりにしましょう。

ヴェイシエメレハー וְיִשְׁמְרֶךָ ..(主が)あなたを守られますように	アドナイ יְהוָה 主が	イェヴァールフハー יְבַרְכֶךָ あなたを祝福し		
ヴィーフネッカー וְיַחֲנֹךְ	エーレーハー אֱלֹהֶיךָ	バーナーヴ פְּנֵי	アドナイ יְהוָה	ヤーエル יָאֵר 照らし
..(主が)あなたを恵まれますように あなたに(向けて) 御顔を 主が				

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イェヴァールフハー アドナイ ヴェイシエメレハー
 ヤーエル アドナイ バーナーヴ エーレーハー ヴィーフネッカー
 イッサー アドナイ バーナーヴ エーレーハー ヴェヤーセーム レハー シャーローム

主があなたを祝福し、
あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、
あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、
あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

すべての理解を上回るその平安、唯一、平和の君から得られる平安、平和の主が、今よりとこしえに、ここでも、どこでもあなたに平安を与えてくださいます。あなたが彼を、あなたの主であり救い主として、心に受け入れるなら。主イエスの御名によってお祈りします。アーメン。


ありがとうございます。そして、シャローム。

テレグラムでフォローする方法をご覧ください。次回まで、さようなら。シャローム！

2021年5月5日 初回公開



スマートフォンなどのカメラで読み込むと、このメッセージを YouTube で見られます。
 ≪リンク先: <https://youtu.be/6P3ig1aVSuY> ≫

	メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel https://beholdisrael.org	
	ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル  https://www.youtube.com/channel/UCLucvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ	